

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【公開番号】特開2000-64976(P2000-64976A)

【公開日】平成12年3月3日(2000.3.3)

【出願番号】特願平11-206611

【国際特許分類】

F 04 C 25/02 (2006.01)

F 04 C 18/16 (2006.01)

【F I】

F 04 C 25/02 M

F 04 C 18/16 J

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月5日(2006.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】ポンプ本体に取付けられた第1シャフト、及び第1シャフトから間隔を隔てられ且つそれと平行な第2シャフトを有し、

第1ロータが第1シャフトに取付けられ、第2ロータが第2シャフトに取付けられ、

各ロータの外面には少なくとも1つの螺旋羽根又はねじ山が形成され、シャフトの回転運動により、流体をポンプの入口から出口の方にポンピングさせるように、螺旋ばね又はねじ山は互いに噛合っている、スクリューポンプにおいて、

第1ベアリング装置が第1シャフトと関連し、第2ベアリング装置が第2シャフトと関連し、各ベアリング装置にベアリング支持体が設けられ、ベアリング支持体は各々ポンプ本体に、互いに独立に取付けられる、スクリューポンプ。

【請求項2】ロータは中空であり、前記ベアリング支持体は各中空ロータ内で延びる、請求項1に記載のスクリューポンプ

【請求項3】各ベアリング支持体は、2つの間隔を隔てたベアリングを含むベアリング装置を収容する、請求項1又は2に記載のスクリューポンプ。

【請求項4】各ロータは実質的に円筒形である、請求項1乃至3のいずれか1項に記載のスクリューポンプ。

【請求項5】各ロータは大直径からポンプ入口の方に又小直径からポンプ出口の方にテーパしている、請求項1乃至3のいずれか1項に記載のスクリューポンプ。

【請求項6】ポンプ本体は、前記ベアリング支持体が取付けられるフランジを有する、請求項1乃至5のいずれか1項に記載のスクリューポンプ。

【請求項7】前記フランジは、ポンプ本体と一体である、請求項6に記載のスクリューポンプ。

【請求項8】前記ベアリング支持体は、ポンプ本体に直接取付けられる、請求項1乃至7のいずれか1項に記載のスクリューポンプ。